

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【国語（書写）】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

（1）光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の構成に関しては、学習手順が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階となっており、「学びのカギ」において学習のポイントを具体的な説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を確かめながら学習できる工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各毛筆教材の「考えよう」において自分で課題を発見させたり、「コラム」において、文字に関する様々な問いを投げかけ、話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、行書の特徴をアイコンで示したり、毛筆手本の半紙の右端に朱墨・薄墨で点画を示したりして、筆使いのポイントを理解しやすくする工夫が見られる。

（2）光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒がこれまでの学びや経験を生かすことについては、巻末「日常に役立つ書式」において体験活動のメモ、さらにはメールの通信文を例にあげることで文字に関心が向くように工夫されている。
- 生徒が自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、「全国文字マップ」において身近な文字や使用例を通して文字文化へ関心が向くよう工夫されている。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。